



(写真提供：新治村企画調整課)

卯月 新治 日枝神社流鏝馬祭

新治村の山王様(日枝神社)で行われる流鏝馬は、坂本山王、東京赤坂山王と並んで日本三大山王流鏝馬として知られています。

昔、山の神と信じられていた大猿がコウカの木(ネムノキ)の根元に住んでおり、里に出没しては農作物を食い荒らしていました。これに困り果てた農民たちは人身御供を毎年差し出したのですが治まらず、見かねた小神野從羅天は弓の名手市川将監の協力を得、大猿を退治したのです。この逸話を儀式化したものが流鏝馬の由来であるといわれます。

流鏝馬は平安時代の初期ごろから始まったと伝えられており、江戸時代の享保年間より盛んになったと思われます。一時期中断したものの、昭和55年に再開されました。伝統的な様式を今日に伝える神事です。

期日：4月第1日曜日

場所：新治村沢辺、日枝神社

(JR常磐線土浦駅からJRバス

ゆう・もあ村行き東城寺下車徒歩5分)